

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
備前市	坂根地区	令和3年2月24日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	11.5ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	9.6ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	6.5ha
④自分が所有する農地について、将来自らが耕作を継続または後継者が耕作する面積の合計	4.6ha
(備考)アンケート調査結果について 将来において、耕作を希望している割合(耕作面積比)は40%、賃貸借24.4%の合わせて64.4% 売却等を希望する割合は16.8%であった。自由意見では、以下の意見あり。 ・地域の営農組織を中心に引き続き農業を継続を希望する(数件)・地域でお願い出来なければ、耕作放棄地となる。・農道整備が必要。・防護柵を設置した結果、鳥獣被害が減った。	

## 2 対象地区の課題

坂根地区の現状を話し合い、弱みと強みを洗い出した。 <b>坂根地区の強み</b> ○水の便 ・水の心配がない・水が豊富・水がおいしい ○地域のまとまり ・互助の意識・人間関係が良好・出会い仕事に積極的に参加・地域のイベントでの交流 ○集落営農 ・坂根営農会での耕作・耕地管理ができています・区画整理ができています <b>坂根地区の弱み</b> ○少子高齢化 ・耕作できなくなる ○自然環境 ・ほ場の規模が小さい・石が多い・日照の悪いほ場もある ○その他 ・農機具や農道水路の老朽化・鳥獣被害・儲からない農業
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落営農組織「坂根営農会」を中心に地域で農地を維持していく
-------------------------------

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(話し合いに基づく取組の方向性)

○坂根営農会 坂根営農会を中心に農地を維持していく。今後10年程度は継続できるが、その後を考えると、若い会員が必要となる。組織を充実させていく。 ○若者対策 若者が農業したくなるような高収益作物の生産を検討する。1ターン新規就農者の支援や空き家への受入れも。 ○SDGsな農業へ 将来的に大規模集約するには無理がある。むしろ、小規模でも持続可能な農業を模索する。半就半農でも可能な農業を。野菜作りにも適した農地を活かしていく。
--